

第 6 回 都立大学駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会 議事録

日時：平成 15 年 3 月 10 日（水）19:00～20:45

場所：八雲住区センター プレイルーム

1. 開会あいさつ 目黒区都市計画課 計画担当課長
2. 目黒区交通バリアフリー推進基本構想（案）に関する説明 目黒区都市計画課
3. 都立大学駅周辺地区 基本構想（案）について意見交換

参加者からの意見 ・ 目黒区からの意見

柿の木坂通りに接続する街路は、制限速度 20km/h のはずである。小学校も立地しており、速度抑制のためのハンプ等を設けて欲しい。

コミュニティ・ゾーン計画の中では、制限速度を 20km/h から 30km/h へ変更している。その代わりにハンプを設ける計画で検討中である。

依然として目黒通りと柿の木坂通りの交差点にある三井住友銀行の角には放置自転車がある。車いすの通行に不便である。

コミュニティ・ゾーンや放置自転車対策の検討と、交通バリアフリー推進基本構想の検討と横の連絡は取っているのか？前回のコミュニティ・ゾーンの会議でも同様の意見が出ている。

- ・ 基本構想は八雲地区コミュニティ・ゾーン形成事業や都立大学駅周辺自転車駐車場増設推進協議会での検討を総合的にとりまとめて策定する予定であり基本構想を策定し、国に申請することで、関連事業の採択が行われやすくなる。

昨年 8 月に開催された前回の懇談会から時間がかかったのはなぜか。

- ・ 昨年 8 月から今日まで、東急電鉄や警察をはじめとした関係者事業者間の調整を行ってきている。

関係する懇談会同志の情報共有、および情報提供をより一層活発に行って欲しい。

学生が都立大学駅から約 800 人通学している。通学路としている街路は、狭くて危険である。また、駅舎自体に改札が南端に 1 箇所あるのみで、目黒通り側にも改札が欲しいが、こうした要望は他からは出ていないのか？ラッシュの時間帯だけでも臨時改札を設けることはできないのか。以前、同様の要望が地元から出され、東急電鉄へ提示した経緯がある。

- ・ 東急電鉄へ確認していく。

道路は誰のものなのかをもう一度整理してもらいたい。

長谷工が建設しているマンションによる新たな自転車利用が発生し問題になる可能性がある。駅前では地元住民の自転車まで撤去されるのは納得いかない。東急電鉄や東急ストアは店舗への来店客の利便性を守ってほしい。

協議会に住民代表として、自治会長、商店会長をメンバーに入れて策定してほしい。

- ・ 地元要望を吸い上げる場として懇談会を、事業推進に向け調整する場として協議会を設けた。様々なスタイルがあると思うが、今回はこのスタイルを採用した。

柿の木坂通りでは、歩車境界の車止め設置されている箇所と、設置されていない箇所があり、不平等感がある。

- ・ 歩道への乗り上げ駐車など、違法駐車について指導を行い、可能なところから車止め設置の対応を行う。

区民キャンパス入口の交差点への信号の設置を要望したい。

- ・ 信号の設置については警視庁と話し合いを続けてきたが、警視庁は地元との合意を重視しており、目黒区としては安全性重視で理解を求めたが平行線をたどっている。

信号設置の可否は、交通バリアフリー推進基本構想策定前の都立大学周辺整備計画検討の頃から論議となっていた。当時は、排気ガスがひどく、沿道住民が反対する理由も納得できたが、現在は自動車の性能も上がってきており、昔と状況も異なってきている。

これまで十中前通りの位置付けは「みどりの散歩道」から「コミュニティ・ゾーン」まで変わってきており、地元としては混乱してしまう。(街路樹、CCBox等の計画から一方通行化まで様々なプランがある)

板橋区採用のユニバーサルデザインの縁石ブロック製品に代表される、車いす利用者と視覚障害者で異なる対応を行うなど、目黒区らしい対策を実行して欲しい。

八雲図書館を利用する視覚障害者の方は、「平坦すぎると、足を踏み出すことをためらう」という意見であり、対策が必要である。

今後、整備にあたっては利害関係者同志の調整をしていくことが必要である。

東急ストアのセットバックの工事中には、通学路として利用している線路脇の区道は閉鎖されるのか？

- ・ まだ正式に決まっていないが、工事中に狭くなることはあっても閉鎖されることはないと考えている。

都立大学駅周辺の客待ちタクシー車両の問題はどのようになっているのか。

- ・ 東急ストアのセットバック計画と一緒に解決するのは困難である。ただし、基本的な考え方が定まったので、これを踏まえて、どのような対応が可能か、地元と一緒に取り組んでいきたい。

都立大学駅から区民キャンパスのアイあい館まで、福祉バスが運行される計画を以前聞いたことがあるが、その後の経緯はどのようになっているのか？

- ・ 関係者に確認する。

交通バリアフリー推進基本構想に盛り込むことが難しい細かな問題の取扱いはどのように考えているのか。

- ・ 交通バリアフリー推進基本構想の資料編の中で、整理していく予定である。

4. 閉会あいさつ 目黒区都市計画課 計画担当課長

以 上